

市民WEBアンケートの結果報告

令和4年3月29日
神戸市都市局公共交通課

WEBアンケートの概要

■調査目的

例年、交通手段別分担率を経年的に把握するために、特定日の移動実態について調査している。今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による人の移動実態の変化や個別施策の評価に関する項目を追加して実施。

■調査期間

令和3年10月21日(木)～11月4日(木)

■調査対象

特定日（令和3年10月20日(水)）に外出した、15歳以上の神戸市民

■サンプル回収数

1,173件

神戸市人口（住民基本台帳R3.7.31時点）

	男性	女性	合計
15～19歳	34,832	33,264	68,096
20～29歳	75,368	77,915	153,283
30～39歳	80,731	83,715	164,446
40～49歳	106,479	113,165	219,644
50～59歳	102,720	108,869	211,589
60歳以上	227,637	295,528	523,165
合計	627,767	712,456	1,340,223

目標サンプル数

	男性	女性	合計
15～19歳	26	25	51
20～29歳	56	58	114
30～39歳	60	63	123
40～49歳	79	84	163
50～59歳	77	81	158
60歳以上	170	221	391
合計	468	532	1,000

回収サンプル数

	男性	女性	合計
15～19歳	15	29	44
20～29歳	66	68	134
30～39歳	75	78	153
40～49歳	96	103	199
50～59歳	91	93	184
60歳以上	206	257	463
合計	549	628	1,177

差

	男性	女性	合計
15～19歳	-11	4	-7
20～29歳	10	10	20
30～39歳	15	15	30
40～49歳	17	19	36
50～59歳	14	12	26
60歳以上	36	36	72
合計	81	96	177

報告内容（調査結果より抜粋）

1. 市内の新型コロナウイルス感染状況
 - (1) 1年間の感染状況
 - (2) アンケート調査時点における感染状況
2. 単純集計結果（R1・R2・R3の3ヵ年比較）
 - (1) 1日のトリップ数
 - (2) 外出目的
 - (3) 代表交通手段
3. コロナ禍での行動変容に関する設問
 - (1) 外出頻度の変化
 - (2) 交通手段の変化
 - (3) アフターコロナの公共交通機関利用
4. 市内の公共交通機関に対する満足度
 - (1) 単純集計
 - (2) 居住地とのクロス集計
 - (3) 年齢とのクロス集計
5. まちの活性化に向けた取組の認知度
 - (1) 単純集計
6. MaaSに関する設問
 - (1) 公共交通利用時の望ましい決済方法
 - (2) 経路探索サービス・アプリの追加機能
7. 市営地下鉄北神線に関する設問
 - (1) 現在の利用状況
 - (2) 運賃値下げによる利用状況の変化

1. 市内の新型コロナウイルス感染状況

(1) 1年間の感染状況

<兵庫県下の状況>

令和3年4月5日～4月22日	まん延防止等重点措置区域
令和3年4月23日～6月20日	緊急事態措置実施区域
令和3年6月21日～7月11日	まん延防止等重点措置区域
令和3年8月2日～8月19日	まん延防止等重点措置区域
令和3年8月20日～9月30日	緊急事態措置実施区域
令和4年1月27日～	まん延防止等重点措置区域



2021年3月31日～2022年3月8日までの神戸市内の新型コロナウイルス新規感染者数の推移 (週単位) ※神戸市HPより

1. 市内の新型コロナウイルス感染状況

(2) アンケート調査時点における感染状況

アンケート調査期間（令和3年10月21日～11月4日）における一週間当たりの新型コロナウイルス感染症の市内新規感染者数は、平均約10人/日程度であった。
※令和2年度のアンケート調査期間は平均約9人/日程度



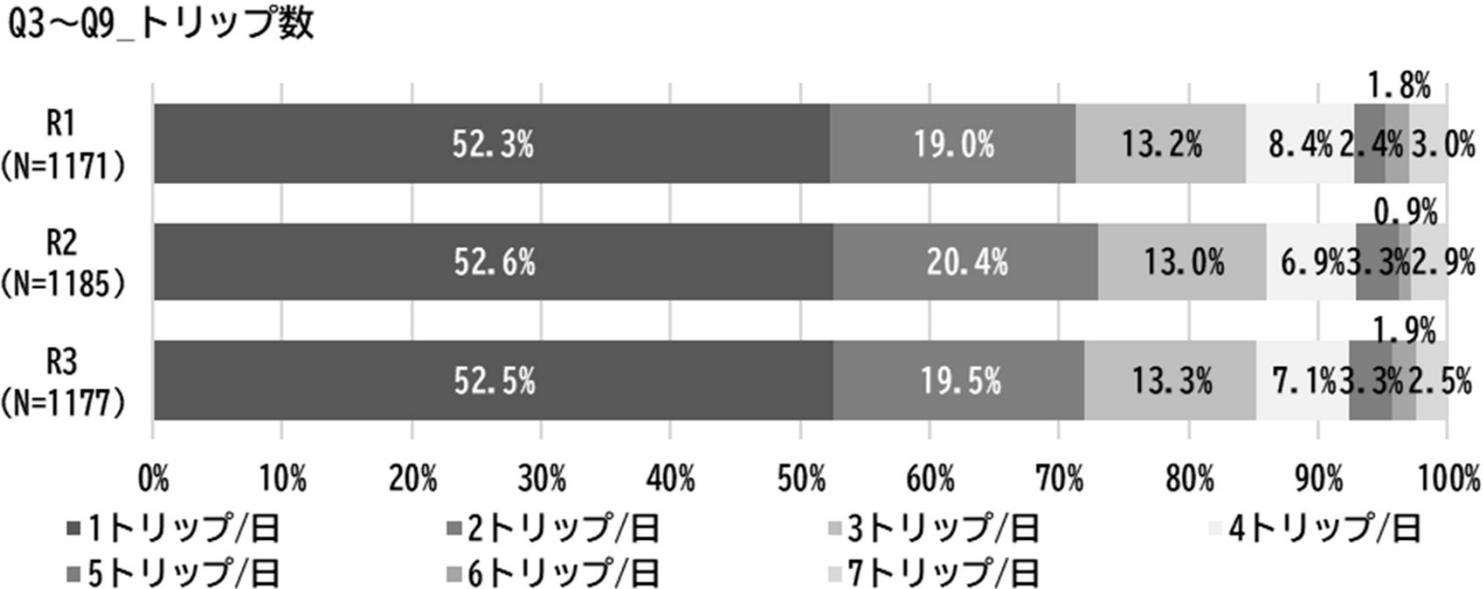
2021年9月29日～2022年3月8日までの神戸市内の新型コロナウイルス新規感染者数の推移（週単位） ※神戸市HPより

2. 単純集計結果（R1・R2・R3の3ヵ年比較）

(1) 1日のトリップ数

特定日のトリップ数について、R1調査・R2調査・R3調査を比較すると、ほぼ同程度の推移であった。

1人あたりのトリップ数の平均値で比較すると、H22PT調査2.22トリップ/日、R1調査では2.07トリップ/日、R2調査では2.02トリップ/日となっており、R3調査では2.05トリップ/日と昨年度よりは多くなっているものの、コロナ前よりは少なくなっている。

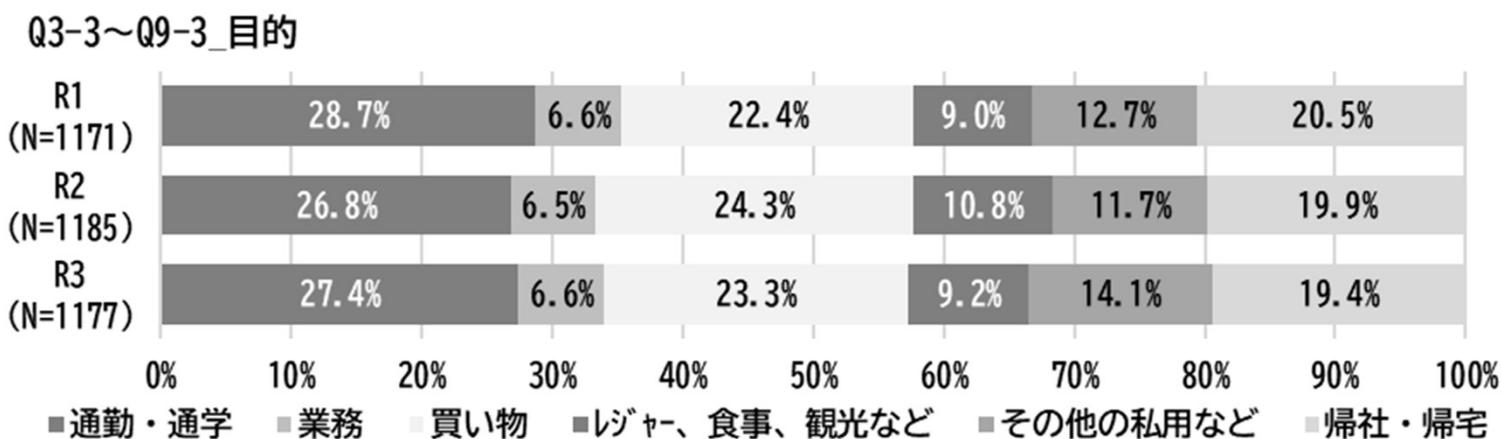


2. 単純集計結果（R1・R2・R3の3ヵ年比較）

（2）外出目的

特定日の外出目的について、R1調査とR3調査を比較すると、R3調査は、「その他の私用（病院、習い事、私的な会合、送迎など）」（+1.4ポイント）の割合が大きくなっており、逆に、「通勤・通学」（-1.2ポイント）、「帰社・帰宅」（-1.1ポイント）の割合が小さくなっている。

R2調査とR3調査を比較すると、R3調査は、「その他の私用（病院、習い事、私的な会合、送迎）など」（+2.4ポイント）の割合が大きくなっており、逆に、「レジャー・娯楽、食事・パーティ、観光、イベント、散策など」（-1.6ポイント）、「買い物」（-1.1ポイント）の割合が小さくなっている。

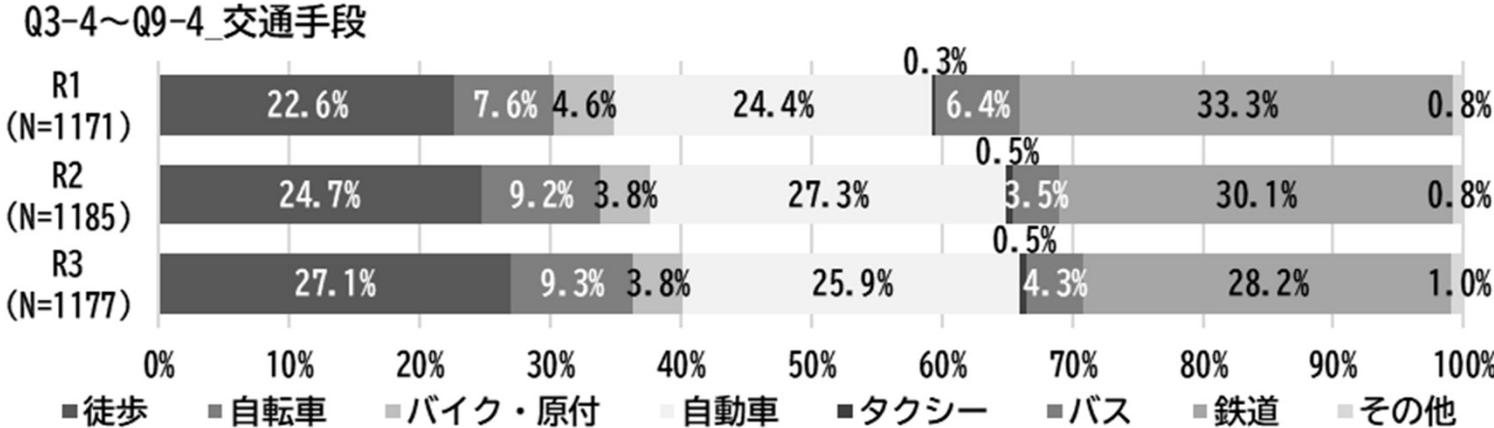


2. 単純集計結果（R1・R2・R3の3ヵ年比較）

（3）代表交通手段

特定日の外出目的について、R1調査とR3調査を比較すると、R3調査は、「徒歩」（+4.4ポイント）、「自転車」（+1.7ポイント）、「自動車」（+1.5ポイント）の割合が大きくなっており、逆に、「鉄道」（-5.1ポイント）、「バス」（-2.0ポイント）の割合が小さくなっている。

R2調査とR3調査を比較すると、R3調査は、「徒歩」（+2.3ポイント）の割合が大きくなっており、逆に、「鉄道」（-1.9ポイント）、「自動車」（-1.4ポイント）の割合が小さくなっている。

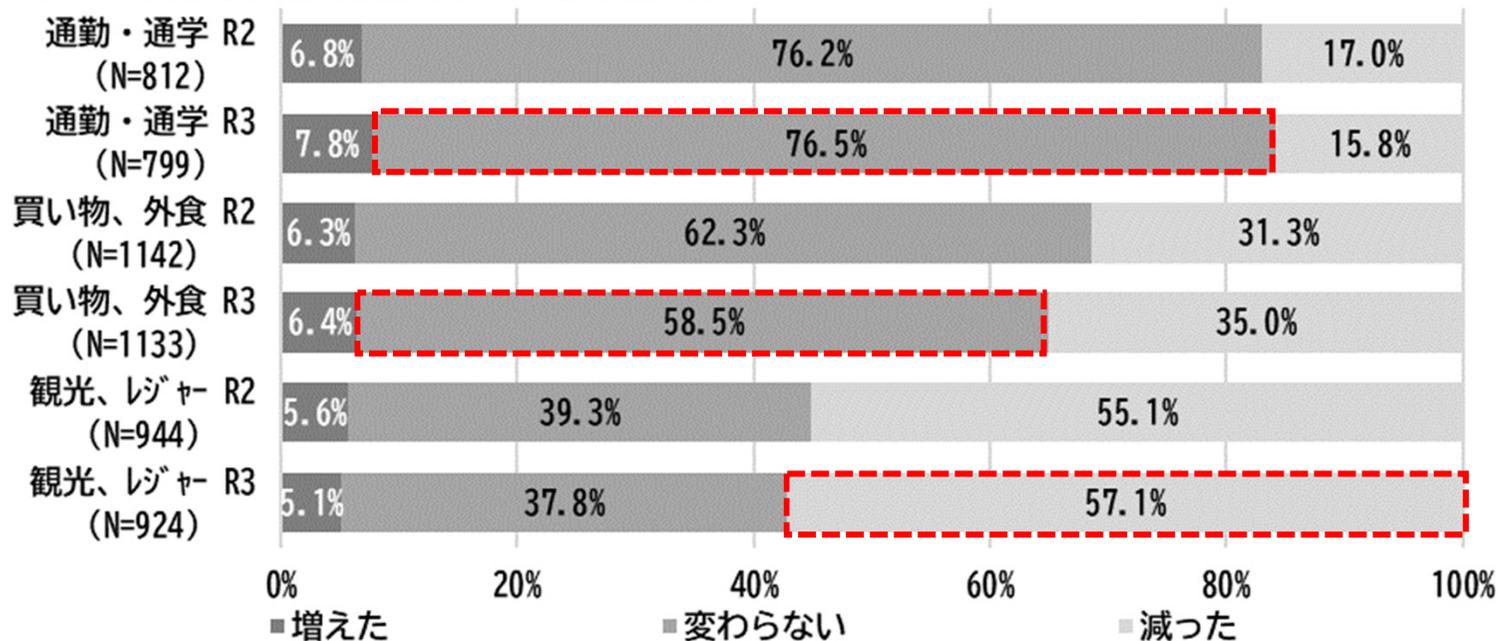


3. コロナ禍での行動変容に関する設問

(1) 外出頻度の変化

令和3年10月1日～15日の行動について、R3調査では、日常生活に必要な『通勤・通学』・『買い物、外食』は「変わらない」が最も多く過半数を占めているが、余暇活動の『観光、レジャー』は「減った」が約半数以上と最も多くなっている。R2調査の結果と比較すると、傾向に大きな変化はない。

Q21-1_新型コロナ禍前後の外出頻度の変化
(「この目的の外出はしていない」を除く)

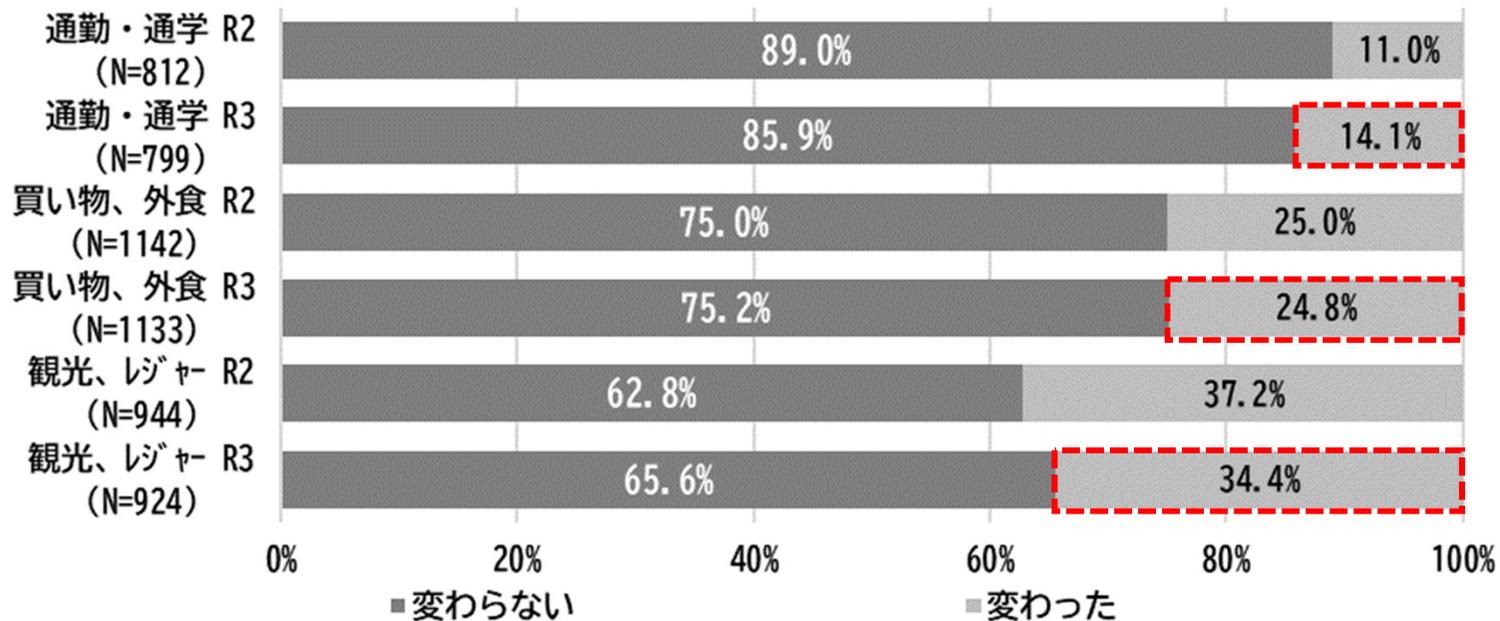


3. コロナ禍での行動変容に関する設問

(2) 交通手段の変化

令和3年10月1日～15日の行動について、R3調査では、いずれの目的でも交通手段は「変わらない」が過半数を占めているが、交通手段が「変わった」割合は『観光、レジャー』（34%）、『買い物、外食』（25%）、『通勤・通学』（14%）の順に多い。R2調査の結果と比較すると、傾向に大きな変化はない。

Q21-2_新型コロナ禍前後の交通手段の変化



3. コロナ禍での行動変容に関する設問

(2) 交通手段の変化

R3調査では、「それぞれの目的ごとの交通手段は何から何に変わりましたか。（前問で、「変わった」と回答した人のみ）」の問に対し、『通勤・通学』・『買い物、外食』・『観光、レジャー』ともに「公共交通機関→自動車」が最も多くなっている。いずれの目的でも、新型コロナウイルスの影響により公共交通から別の交通手段に変更した人が多い。また、R2調査の結果と比較すると、『通勤・通学』の最多回答は「公共交通機関→徒歩」が「公共交通機関→自動車」に変わっている。

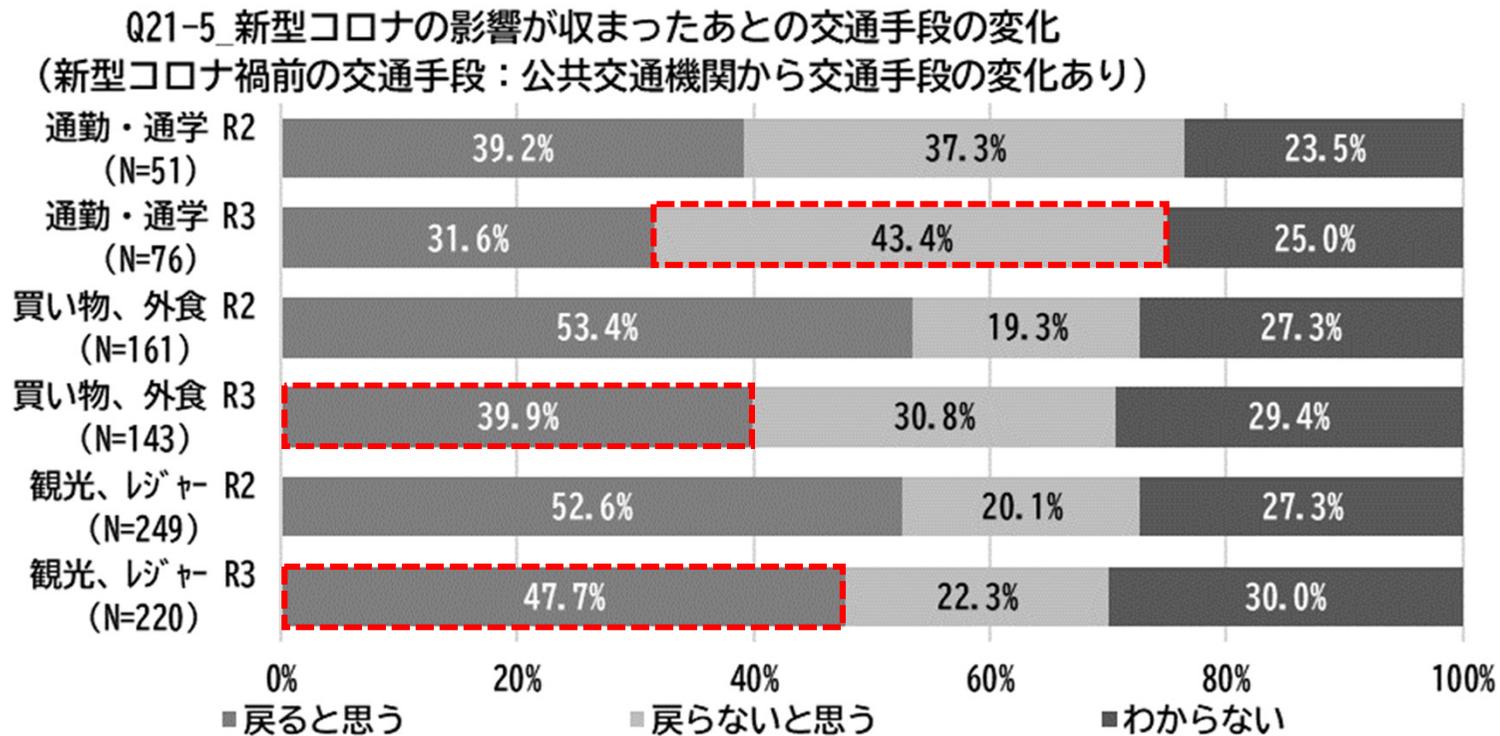
目的	年次	1位	2位	3位
通勤・通学	R2調査	公共交通→徒歩 (28.1%)	徒歩→公共交通 (22.5%)	公共交通→自動車 (20.2%)
通勤・通学	R3調査	公共交通→自動車 (30.1%)	公共交通→徒歩 (27.4%)	徒歩→公共交通 (11.5%)
買い物、外食	R2調査	公共交通→自動車 (28.0%)	公共交通→徒歩 (23.4%)	徒歩→公共交通 (10.8%)
買い物、外食	R3調査	公共交通→自動車 (26.3%)	公共交通→徒歩 (19.6%)	自動車→徒歩 (10.3%)
観光、レジャー	R2調査	公共交通→自動車 (47.6%)	公共交通→徒歩 (16.5%)	徒歩→公共交通 (7.1%)
観光、レジャー	R3調査	公共交通→自動車 (49.1%)	公共交通→徒歩 (17.3%)	自動車→公共交通 (8.8%)

※ 「徒歩→公共交通」や「自動車→徒歩」、「自動車→公共交通」を選んだ方は、交通手段だけでなく通勤・通学先や買い物先、観光地などの目的地も変わった可能性もある。

3. コロナ禍での行動変容に関する設問

(3) アフターコロナの公共交通機関利用

「新型コロナウイルス感染拡大の影響が収まれば、それぞれの目的ごとの交通手段は元の公共交通機関に戻ると思いませんか。（前問で「公共交通機関→自動車orバイク・原付or自転車or徒歩」に変わったと回答した人のみ）」の問に対し、R3調査の方が、「戻らないと思う」が『通勤・通学』が+6.2ポイント、『買い物、外食』が+11.5ポイント、『観光、レジャー』が+2.2ポイント大きくなっている。



4. 市内の公共交通機関に対する満足度

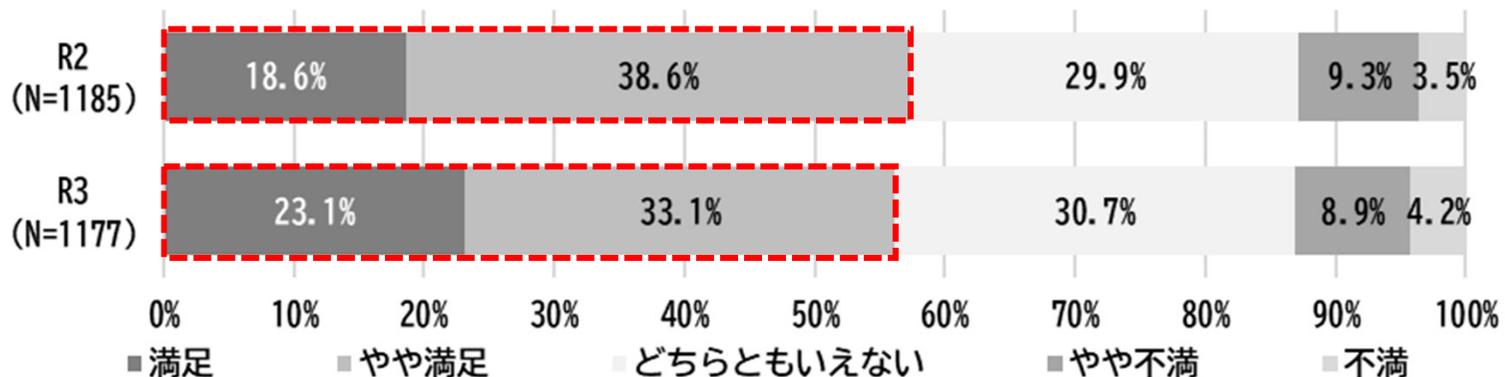
(1) 単純集計

R3調査は、「やや満足」が389件で33.1%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が361件で30.7%、さらに「満足」が272件で23.1%と続いている。

R2調査と比較すると、R3調査は、「満足」(+4.5ポイント)の割合が大きくなっており、逆に、「やや満足」(-5.6ポイント)の割合が小さくなっている。

また、「満足」・「やや満足」の回答者割合の合計は、R2調査が57.3%、R3調査が56.2%となっており、R3調査の方が-1.1ポイント小さくなっている。

Q18-1_神戸市内の公共交通機関利用の満足度



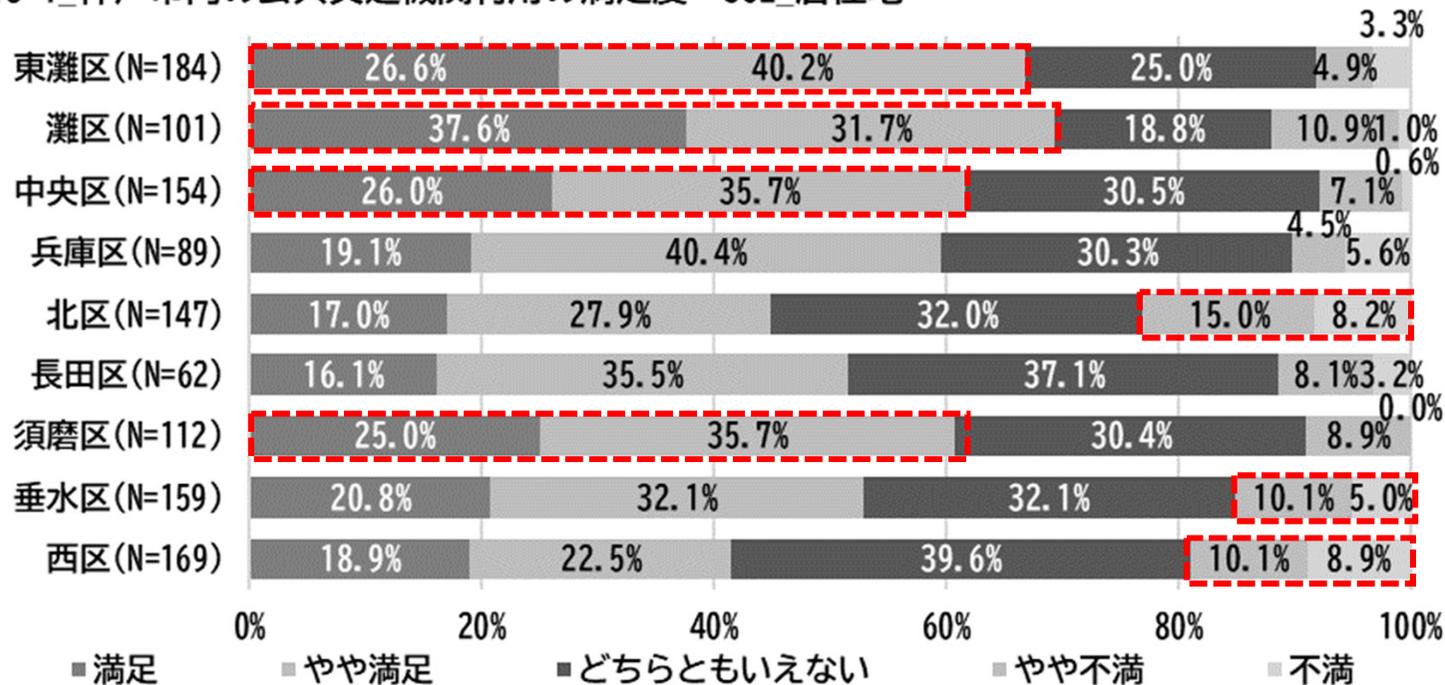
4. 市内の公共交通機関に対する満足度

(2) 居住地とのクロス集計

「満足」あるいは「やや満足」と回答した割合は『灘区』が69.3%と最も多く、次いで東灘区、中央区、須磨区と、臨海部の区が続いている。

逆に「不満」あるいは「やや不満」と回答した割合は『北区』が23.1%と最も多く、次いで『西区』が18.9%、さらに『垂水区』が15.1%と続いている。

Q18-1_神戸市内の公共交通機関利用の満足度×SC2_居住地



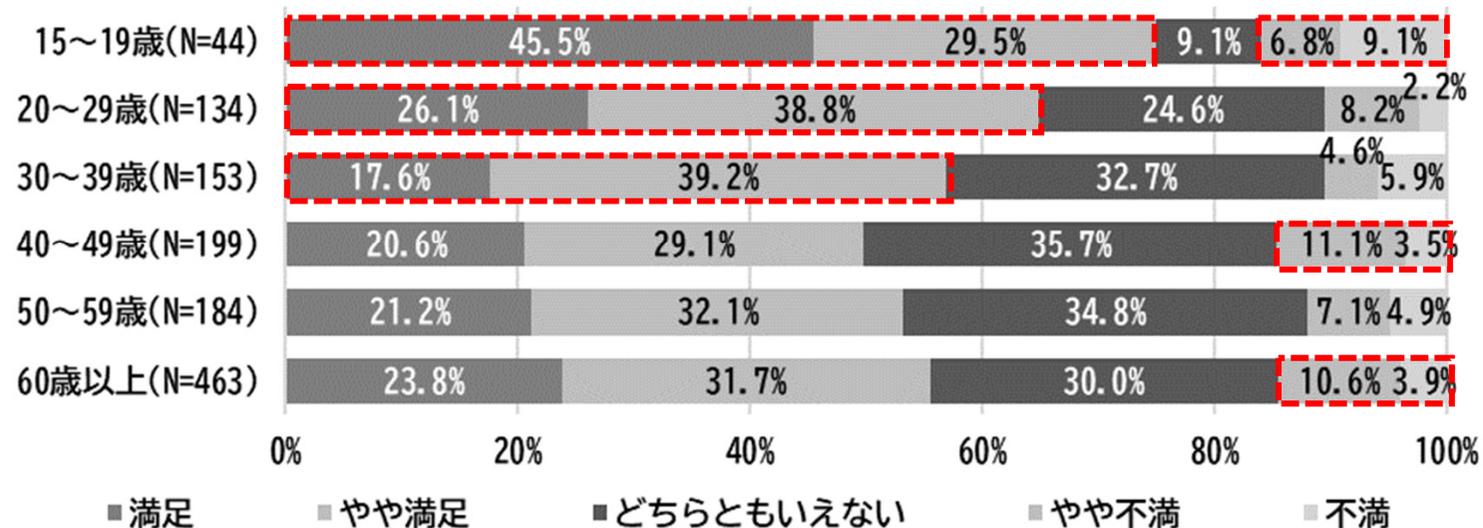
4. 市内の公共交通機関に対する満足度

(3) 年齢とのクロス集計

「満足」あるいは「やや満足」と回答した割合は『15～19歳』が75.0%と最も多く、次いで『20～29歳』が64.9%、さらに『30～39歳』が56.9%と続いている。

逆に「不満」あるいは「やや不満」と回答した割合は『15～19歳』が15.9%と最も多く、次いで『40～49歳』が14.6%、さらに『60歳以上』が14.5%と続いている。

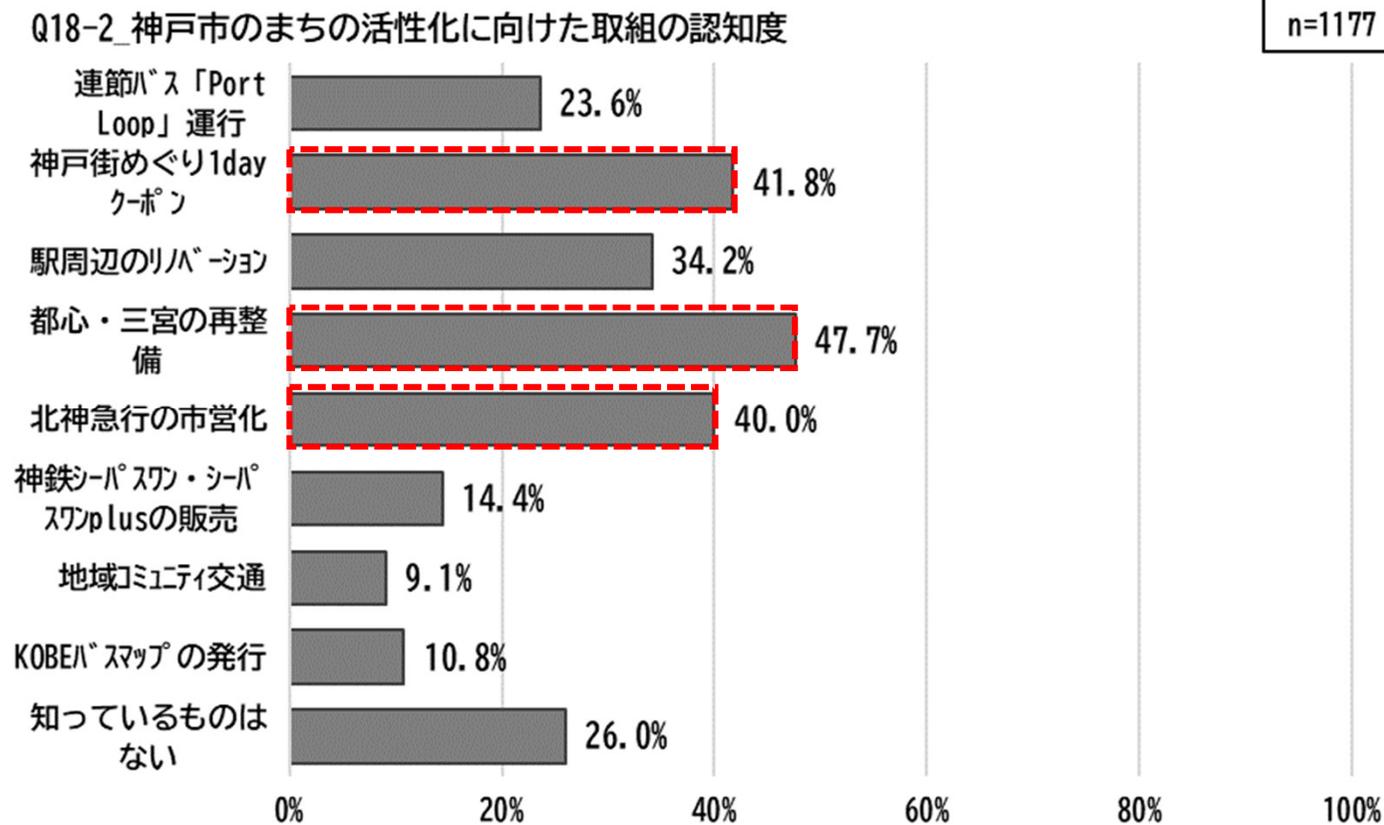
Q18-1_神戸市内の公共交通機関利用の満足度×SC5_年齢



5. まちの活性化に向けた取組の認知度

(1) 単純集計（複数回答）

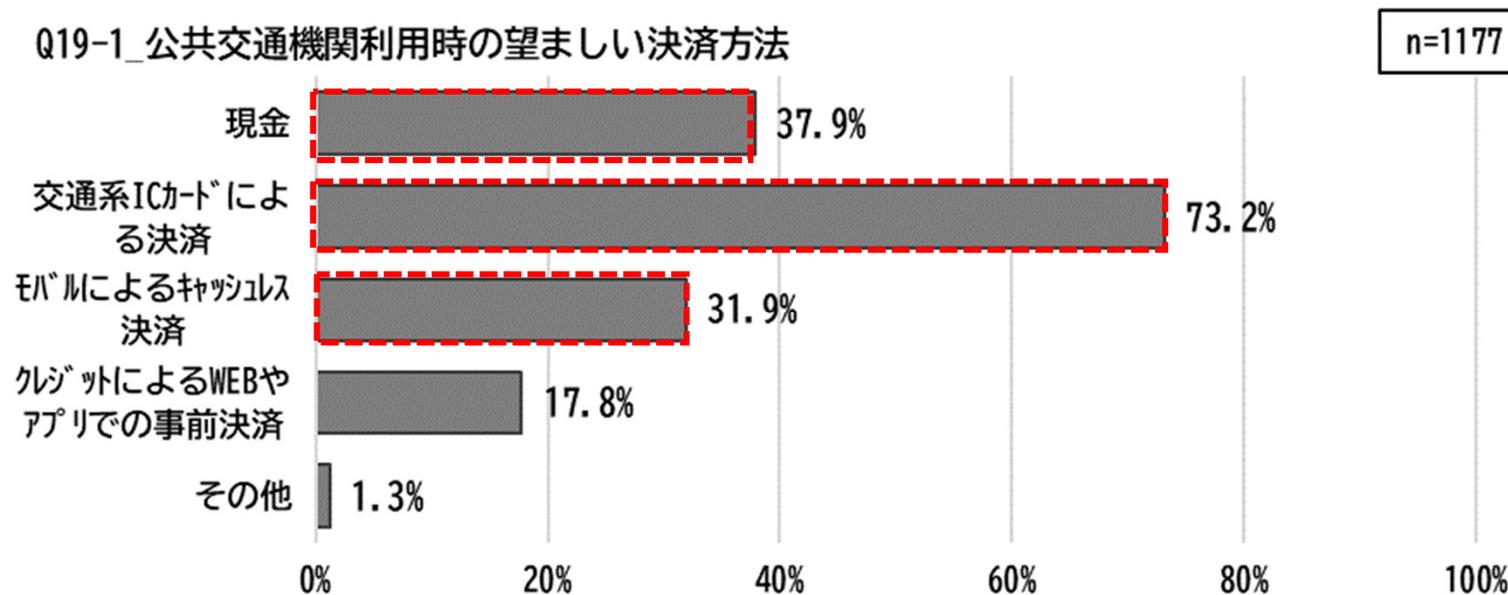
まちの活性化に向けた取組の認知度について、「都心・三宮の再整備（新たなバスターミナル、三宮クロススクエア等）」が47.7%と最も多く、次いで「神戸街めぐり1dayクーポン」が41.8%、さらに「北神急行の市営化」が40.0%となっている。



6. MaaSに関する設問

(1) 公共交通利用時の望ましい決済方法（複数回答）

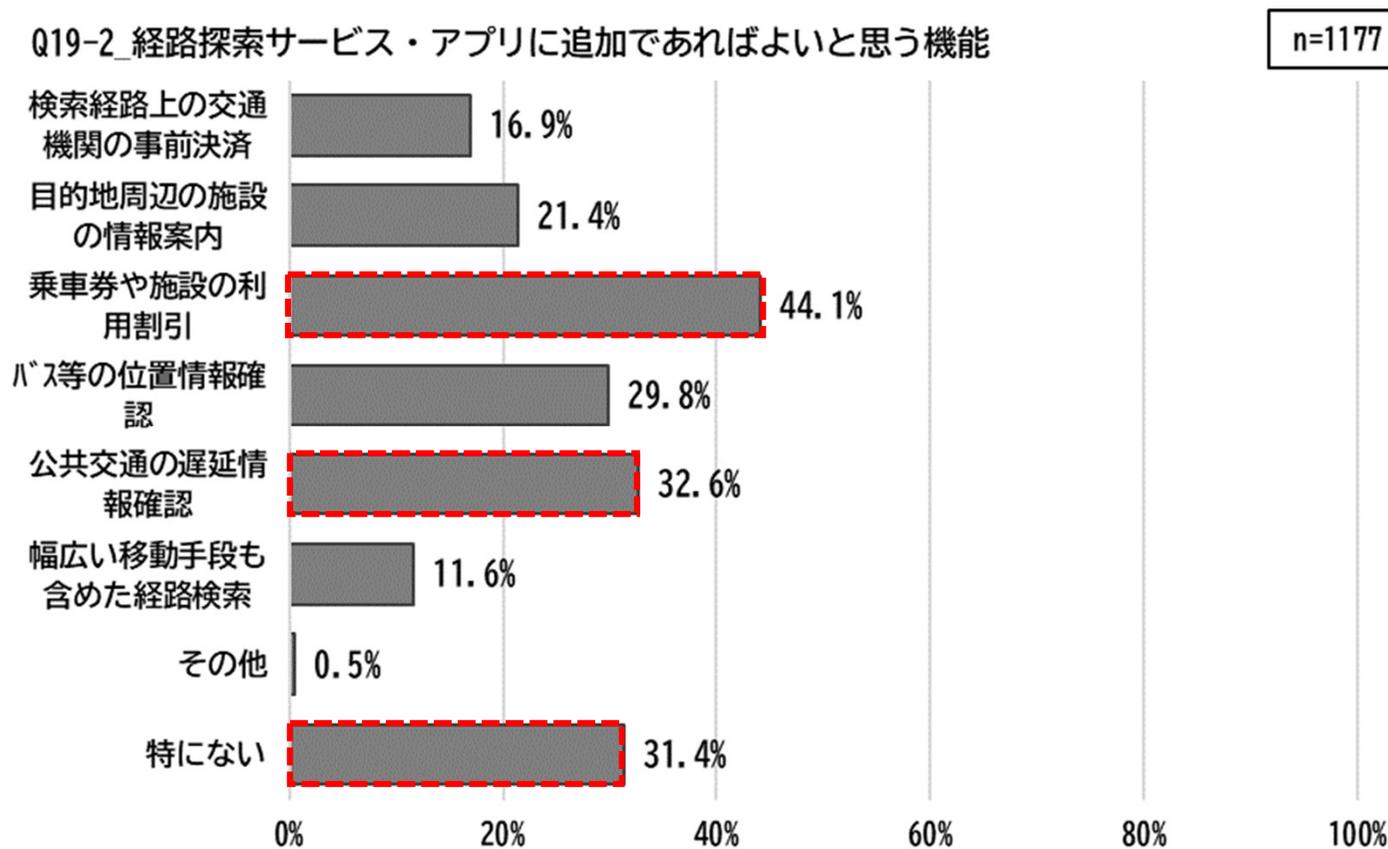
公共交通利用時の望ましい決済方法について、「交通系ICカードによる決済」が861件で73.2%と最も多く、次いで「現金」が446件で37.9%、さらに「モバイルによるキャッシュレス決済（PayPay、LINE Payなど）」が376件で31.9%と続いている。



6. MaaSに関する設問

(2) 経路探索サービス・アプリの追加機能（複数回答）

経路探索サービス・アプリに追加であればよいと思う機能について、「乗車券や施設の利用割引」が519件で44.1%と最も多く、次いで「公共交通の遅延情報確認」が384件で32.6%、さらに「特に追加であればよいと思う機能はない」が370件で31.4%と続いている。

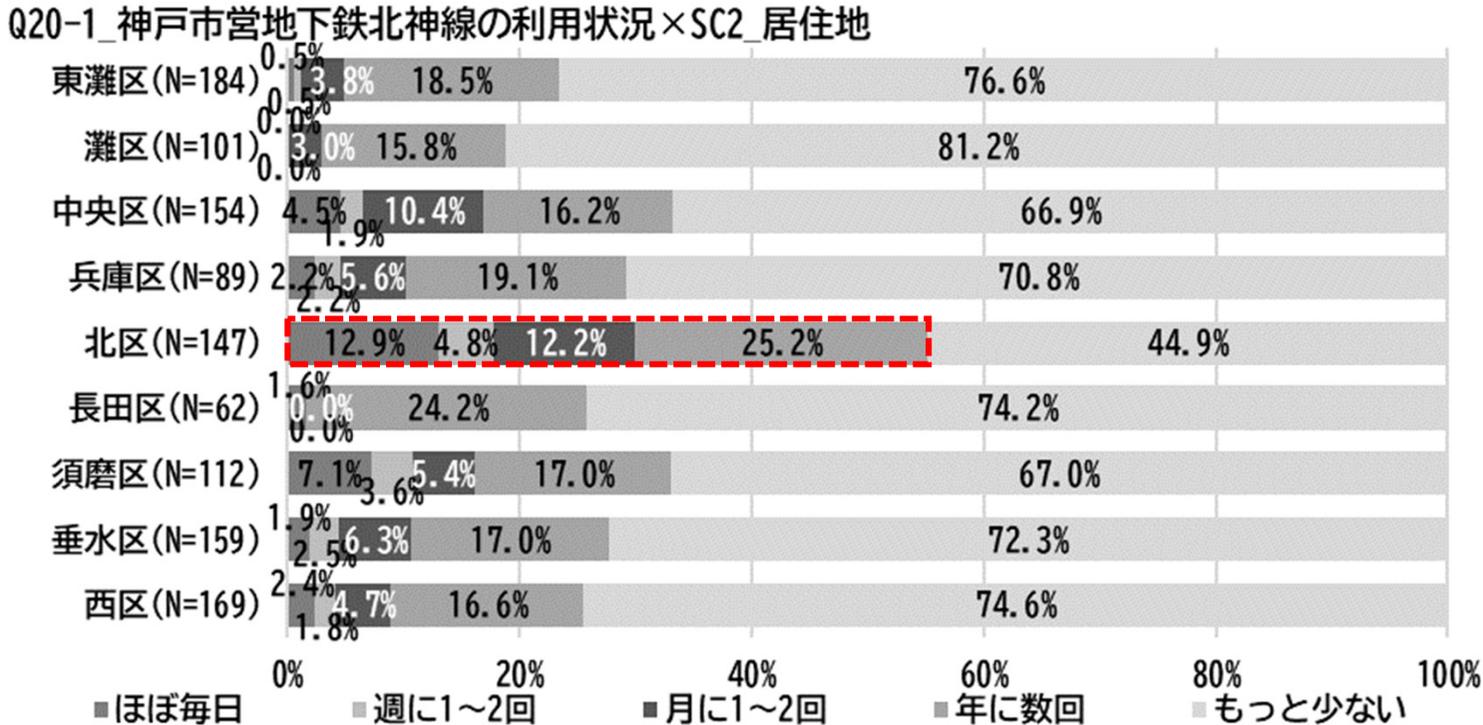


7. 市営地下鉄北神線に関する設問

(1) 現在の利用状況（居住地とのクロス集計）

「ほぼ毎日」と回答した割合は『北区』が12.9%と最も多く、次いで『須磨区』が7.1%、さらに『中央区』が4.9%と続いている。

逆に「もっと少ない」と回答した割合は『灘区』が81.2%と最も多く、次いで『東灘区』が76.6%、さらに『西区』が74.6%と続いている。

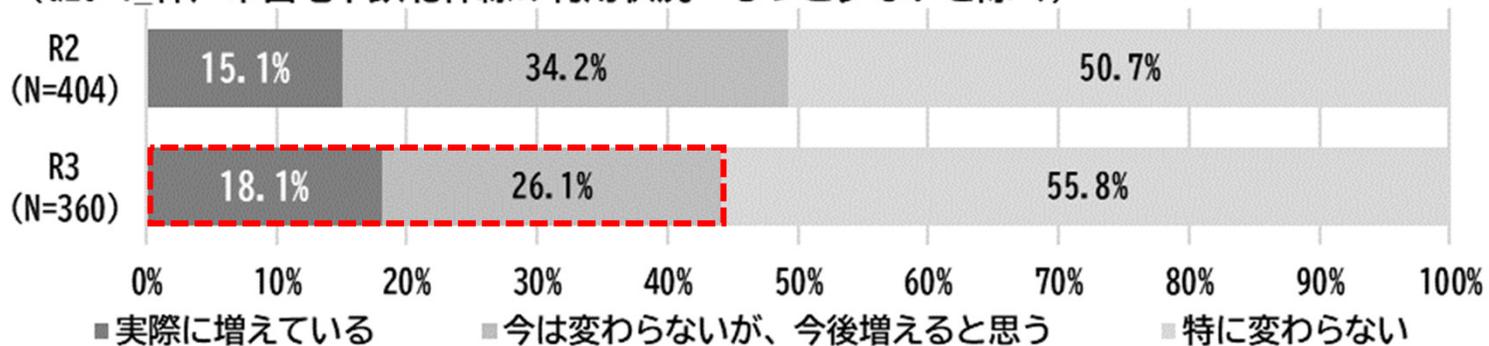


7. 市営地下鉄北神線に関する設問

(2) 運賃値下げによる利用状況の変化

市営地下鉄北神線の運賃値下げによる利用状況の変化について、現在の利用状況が『もっと少ない（年に数回以下）』と回答した方を除くと、R3調査の方が、「今は変わらないが、今後増えると思う」が-8.0ポイント小さくなっているが、「実際に増えている」は+3.0ポイント大きくなっている。

Q20-2_神戸市営地下鉄北神線の運賃値下げによる利用状況の変化
(Q20-1_神戸市営地下鉄北神線の利用状況：もっと少ないを除く)



7. 市営地下鉄北神線に関する設問

(2) 運賃値下げによる利用状況の変化（居住地とのクロス集計）

R3調査では、「実際に増えている」と回答した割合は『北区』が20.4%と最も多く、次いで『灘区』が5.9%、さらに『垂水区』が5.0%と続いている。

R2調査と比較すると、北区において、「実際に増えている」との回答が4.5ポイント増えている一方で、「今は変わらないが、今後増えると思う」との回答が14.1ポイント少なくなっている。

Q20-2 神戸市営地下鉄北神線の運賃値下げによる利用状況の変化
×SC2_居住地

